

PRESS INFORMATION

2014年4月8日

株式会社日本レースプロモーション

4月12日(土)～13日(日)「鈴鹿2&4レース」

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ第1戦 鈴鹿サーキット大会選手権概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、4月12日(土)～13日(日)の2日間、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周 5.807km)で開催される鈴鹿2&4レース「2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ第1戦鈴鹿サーキット」について選手権概要を発表する。

2014年度の開幕戦となる本大会は、三重県鈴鹿サーキット国際公認レーシングコースを43周、トータル249.70kmで争われる。

今シーズンは5年ぶりとなる新型車両「SF14」が導入され、シャシーもエンジンも一新されたため、ドライバーを含むチームの総合力が問われるレースが予想される。

公式予選は全大会ノックアウト方式で行われる。ノックアウト方式とは予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼び名で呼ばれる。本大会のように19台エントリーの場合にはQ1(20分間)で15位から19位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い、9位から14位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3(7分間)を行い、1～8位までの決勝レーススタート位置を決定する。

11エントリー19名のドライバーがエントリーしている本年度は、2009年チャンピオンのロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)、2010年チャンピオンのJ.P.デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)、2011年チャンピオンのアンドレ・ロッター(ペトロナス・チーム・トムス)、2012年チャンピオンの中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)、そして昨年度チャンピオンの山本尚貴(チーム無限)という5人のチャンピオン経験者が一堂に会する史上初の大会となる。さらにヴィタントニオ・リウッツィ(エイチピー リアルレーシング)、クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン(レノボ チーム インパル)というF1経験のある2名の外国人ドライバーも加わり、ハイレベルな戦いが期待される。

またルーキーでは、FCJや全日本F3で活躍し、念願かなってスーパーフォーミュラへのステップアップを果たした中山雄一(KCMG)と野尻智紀(ドコモ チーム ダンディライアンレーシング)の2名が参戦。ルーキー・オブ・ザ・イヤーの行方にも注目が集まる。

また中山友貴(チーム無限)や石浦宏明(プロミュー/セルモ・インギング)のシリーズ出場復活組も十分な気概でレースに臨むであろうことから、白熱したレースが予想される。

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第1戦 エントリーリスト

(シャシー：SF14、タイヤ：ブリヂストン)

No.	ドライバー	年齢 出身地	チーム 監督	エンジン
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県	TEAM 無限 (チームムゲン) 手塚 長孝	HONDA HR-414E
2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	1987.7.29 日本 石川県		
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.25 イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング) 近藤 真彦	TOYOTA RI4A
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナススノコチームルマン) 土沼 広芳	TOYOTA RI4A
8	ロイック・デュバル Loic Duval	1982.6.12 フランス		
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	HP REAL RACING (エイチピーリアルレーシング) 金石 勝智	HONDA HR-414E
11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	1981.8.6 イタリア		
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991.7.25 日本 東京都	KCMG (ケーシーエムジー) 土居 隆二	TOYOTA RI4A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL (レノボチームインパル) 星野 一義	TOYOTA RI4A
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan	1977.1.14 インド		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本 愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) 中嶋 悟	HONDA HR-414E
32	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県		
36	アンドレ・ロッターラー Andre Lotterer	1981.11.19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 館 信秀	TOYOTA RI4A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県		
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981.4.23 日本 東京都	P.MU / CERUMO・INGING (プロミュア/セルモ・インギング) 立川 祐路	TOYOTA RI4A
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県		
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989.9.15 日本 茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング) 村岡 潔	HONDA HR-414E
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	1982.10.6 日本 東京都		
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	1983.4.25 日本 愛知県	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (トチギル・ボーセモータースポーツ) 坪松 唯夫	TOYOTA RI4A

2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	PP
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

※ PP:ポールポジション(予選1位)には1ポイント付与される(ドライバーポイントのみでチームポイントには加算されない)。

※ 1大会2レース制の場合、第1・第2レース共に1レース制の得点の半分が与えられる。

※ Rd.7鈴鹿大会に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられ、ポールポジション&2連勝で最大18ポイントを獲得できる。

※ 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチームが同一のポイントを得た場合、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより賞金と、シリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。また年間チャンピオン チームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

3. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量2,000cc、直列4気筒ダイレクトインジェクション、HONDA HR414EまたはTOYOTA R14Aを使用する。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイク。

4. オーバーテイクシステム(OTS)

新エンジンに採用される燃料リストラクター(燃料流量規制システム)を活用し、燃料供給量を上げて1回につき約5パーセントのエンジン性能アップをもたらすことで、オーバーテイクを促すシステム。ステアリングにあるボタンを押下することでアクティブとなり、1回のレースにつき原則5回、各20秒間使用可能となる。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色オーバーテイクランプ(リーダーズレッド)を装着している。OTLは、スーパーフォーミュラ独自の仕組み。

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/開催地	予選方式	決勝レース方式
4/12~13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/17~18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/12~13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/23~24	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/13~14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220km
9/27~28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/8~9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

大会概要

- 大会名称： 鈴鹿2&4レース
2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 鈴鹿サーキット
2014年 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦
- 同日開催： 2014年 全日本フォーミュラ3選手権 第1戦&第2戦
Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ
Enjoy Honda 鈴鹿 2014
- 主催：(4輪)グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS)／鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)／株式会社モビリティランド
(2輪)一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会(MFJ)／株式会社モビリティランド
- 公認：(4輪)国際自動車連盟(FIA)／一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
(2輪)国際モーターサイクリズム連盟(FIM)／一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会(MFJ)
- 認定：(4輪)株式会社日本レースプロモーション(JRP)／日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
- 後援：文部科学省／観光庁／三重県／鈴鹿市／鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
／一般社団法人鈴鹿市観光協会／鈴鹿商工会議所

チケット購入／お問い合わせ

- 前売観戦券(2日間有効) *4月11日(金)も入場可
大人 ¥4,000(ゆうえんちモトピアパスポート1日付き)
中・高校生 ¥1,700(入場のみ)
*観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ(<http://www.suzukacircuit.jp/>)をご参照ください。

TV放映／映像配信予定

- J SPORTS 1
全戦予選と決勝レースをライブ中継。また再放送やレースダイジェスト番組も放送。
*再放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブサイト(<http://www.superformula.net/>)
またはJ SPORTSホームページ(http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/)にてご確認ください。
- BSフジ
大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特別番組を放送。
本放送 4月19日(土) 11:00~11:55 再放送 4月26日(土) 12:00~12:55
*放送日、放送時間はスーパーフォーミュラオフィシャルウェブサイト(<http://www.superformula.net/>)をご確認ください。
- フジテレビONE/TWO/NEXT(フジテレビCS)「スーパーフォーミュラTV」
各レースのハイライト映像と現役参戦ドライバーをスタジオに迎えてのトークで構成された特別番組
4月18日(金) 22:30~23:00
- Yahoo! Gyaol
大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド(<http://gyao.yahoo.co.jp/>)にて配信。
- YouTube
予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて配信。

※放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

* この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
e-mail: media@superformula.net
Tel: 03-3237-0131 Fax: 03-3237-0135
担当: 遠藤 清人 携帯電話: 090-3401-8112 e-mail: media@jrp-inc.jp